



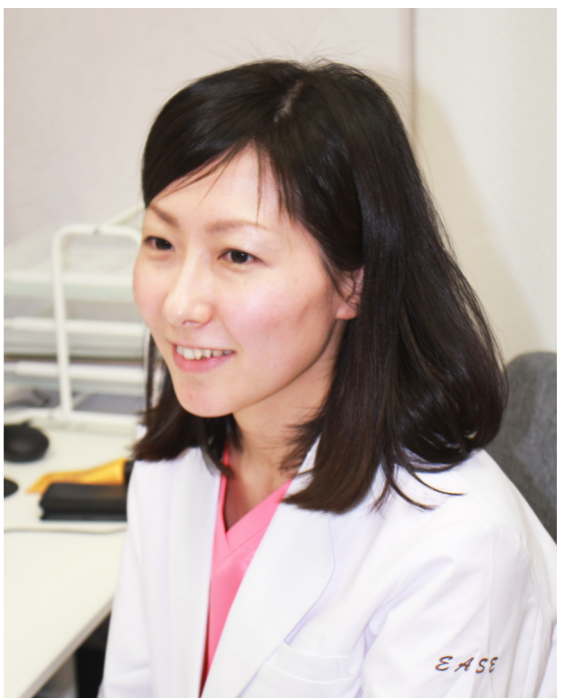
「八丁堀駅」
A2出口より
徒歩1分



EASE 女性のクリニック
東京都中央区入船 1-1-24 5F
URL : <https://ease-clinic.jp>

全ての女性の健康と子育てを支え、生涯を通じたお付き合いを

多くの女性が、より「気軽に」「簡単に」病気や悩みを相談できるクリニックをつくりたいという丸山院長の思いから誕生した『EASE女性のクリニック』。不妊相談や妊婦健診、更年期外来などに加え、病児保育スペースも完備し、様々な世代の女性に寄り添っている。本日は開院から間もない同クリニックを、タレントの布川敏和氏が訪問し、院長にお話を伺った。



▲東京都出身。日本産婦人科学会 認定産婦人科専門医。国際認定ラクテーション・コンサルタント資格者。『関西医科大学』を卒業後、東京の産婦人科に勤務。様々な病院にて実務経験を積む。2019年1月に『EASE女性のクリニック』を開業。

院長 丸山 真理子



対談

タレント 布川 敏和

丸山院長の歩みからお聞かせ下さい。
東京出身で、中学から高校まで横浜の学校で寮生活を送りました。高校を卒業後、姉も通っていた「関西医科大学」に進学。そちらで6年間を過ごし、初期研修で東京に戻ってきたんです。大学での勉強と、実際の現場は全く違いましたね。大変なこともありましたが、とても熱心にご指導いただき、楽しく充実した2年間でした。
いつごろから産婦人科を専門にしようと思ったのでしょうか。
大学に入学する前から決めていました。私は、人の生死に関わる場面に、医療従事者としてお役に立ちたいと思っていました。そして、できれば「おめでどう」と言える産婦人科が良いと思いました。今でも、自分の好きなことを仕事にできていると日々実感しています。

開業を志したきっかけは何でしたか。
医師になった時から、地域に貢献したいという思いがありました。また、働いていくうちに、良くなった患者さまがその後どのように過ごしていくか、本当に必要なケアを受けられているか、自分自身で診ていきたいと思うようになりました。大きな病院では高度な治療はできますが、細やかなフォローアップや、検診の啓蒙はなかなか取り組めません。また、働き盛りや子育て

が、新しい命が生まれる過程に関われることですね。人の誕生に立ち会える仕事は、産婦人科くらいではないでしょうか。不妊治療の場合、命が宿る前から関わることにあります。勤務医だったころは長くても乳児健診までのお付き合いというケースがほとんどでしたが、当院では、妊婦健診や出産後の健診、子育ての支援、子宮がん・乳がん検診、更年期のご相談など、女性の健康をトータルにサポートし、生涯にわたってのお付き合いができます。
年齢に関係なく、全ての女性の悩みに対応されていると、地域の女性にとって頼もしい存在だと思います。
そう思っていただけでは嬉しいですね。そしてゆくゆくは、患者さまの妊娠期からお付き合いし、やがて思春期になられたお子さんのご相談にも乗るといように、親子で通っていただけるクリニックになれればと思っています。
生まれる前から知っている子が成長して来てくれたら、さぞ感慨深いでしょうね。世代を超えて愛されるクリニックになれるよう、私も応援しています！

す。産婦人科がはじめての方や、忙しいママなど、全ての人が気軽に相談でき、通いやすいクリニックを目指しています。ちなみに、「優しい」「容易」という意味の「easy」から命名しました。受診しやすい、通いやすい、診察も優しい、症状を緩和するなど、様々な意味を込めました。
通いやすさのために、どのようなことに取り組んでいらっしゃるのでしょうか。
まず、私も含めてオール女性スタッフということ。男性は妊婦さんのお付き添い以外、基本的にお断りしています。そして、できるだけ病院らしくない内装やインテリアに統一し、気構えずに立ち寄れるような雰囲気づくりを心がけています。さらに、忙しい方のためのオンライン診療、託児サービスも行っているほか、併設の「はぐみっく病児保育室」では、病中や回復期のお子さんの保育サービスも行っています。確かに女性が足を運びやすく、お母さんも安心して受診できますね。院長にとって、このお仕事が一番のやり甲斐とは？
当クリニックでは出産は扱っていません

が、新しい命が生まれる過程に関われることですね。人の誕生に立ち会える仕事は、産婦人科くらいではないでしょうか。不妊治療の場合、命が宿る前から関わることにあります。勤務医だったころは長くても乳児健診までのお付き合いというケースがほとんどでしたが、当院では、妊婦健診や出産後の健診、子育ての支援、子宮がん・乳がん検診、更年期のご相談など、女性の健康をトータルにサポートし、生涯にわたってのお付き合いができます。
年齢に関係なく、全ての女性の悩みに対応されていると、地域の女性にとって頼もしい存在だと思います。
そう思っていただけでは嬉しいですね。そしてゆくゆくは、患者さまの妊娠期からお付き合いし、やがて思春期になられたお子さんのご相談にも乗るといように、親子で通っていただけるクリニックになれればと思っています。
生まれる前から知っている子が成長して来てくれたら、さぞ感慨深いでしょうね。世代を超えて愛されるクリニックになれるよう、私も応援しています！

Pick Up

忙しい女性でも利用しやすく

▼家事や育児、仕事などに追われ、つい自分のことを後回しにしてしまう女性が多い。丸山院長は、自身も子育てと仕事で多忙な毎日を送る中で、「世の中の女性にもっと自分のケアをしてもらいたい」との思いが芽生えたという。そこで『EASE女性のクリニック』では、なかなか通院の時間がとれない女性のために、「オンライン診療」を導入。忙しい方でも相談しやすい体制を整えている。

親子で笑顔に

▼同クリニックが入っているビル内には、保育施設などが併設されており、ビル全体で都会の子育てを応援している。保育園や病児・病後児保育室のほか、キッズスペース完備の子連れコワーキングスペースもあり、働く子育て世代を幅広くサポート。クリニックでは育児相談も行っており、子育ての悩みや不安にしっかりと寄り添っている。同クリニックが目指しているのは、全ての女性にとって優しいクリニックだ。



布川 敏和 (タレント)

guest comment

「私も、子どもたちが生まれた時には産婦人科にお世話になりました。子どもの成長と共に付き合いはなくなりますが、こちらのようないクリニックなら、お母さんやそのお子さんと末永いお付き合いを続けていけるといいですね。また、一般的に病院という無機質な印象ですが、こちらは明るい雰囲気、待ち時間もリラックスして過ごせそうです。女性ならではの配慮がいっぱいの、素敵なクリニックだと思います」